施工説明書

INAX

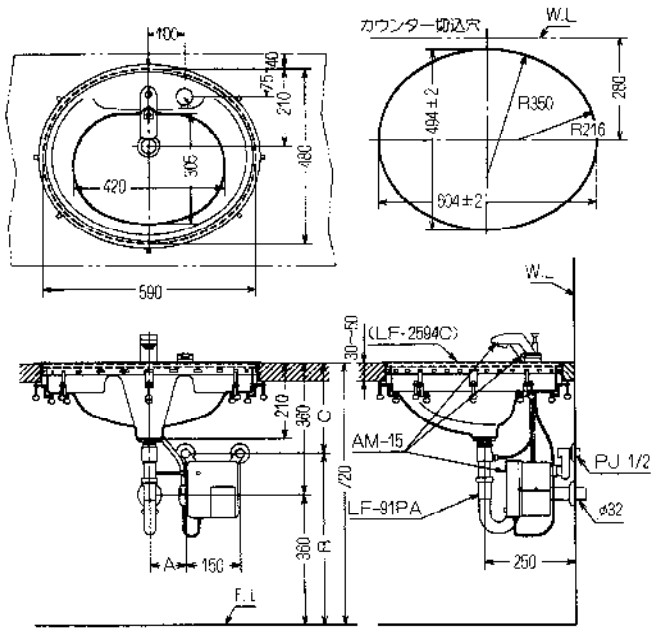
オートマージュ

AM-15 AM-25
手洗器・洗面器用発電機付自動水栓

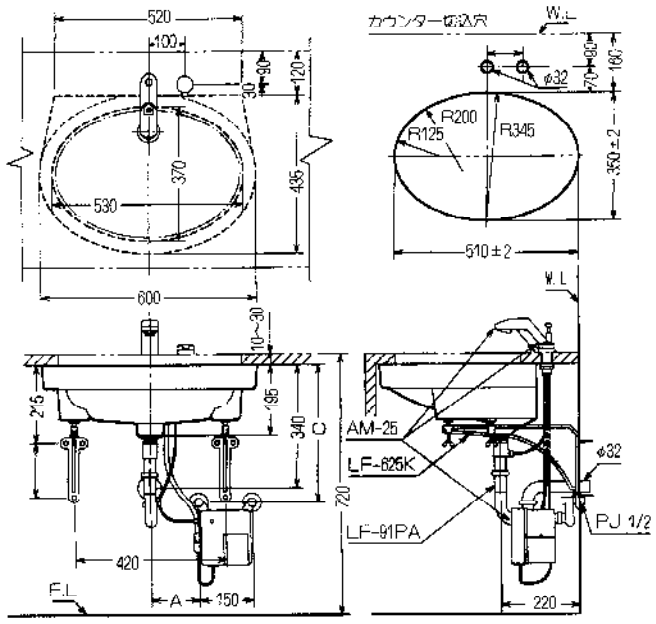
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

AM-15



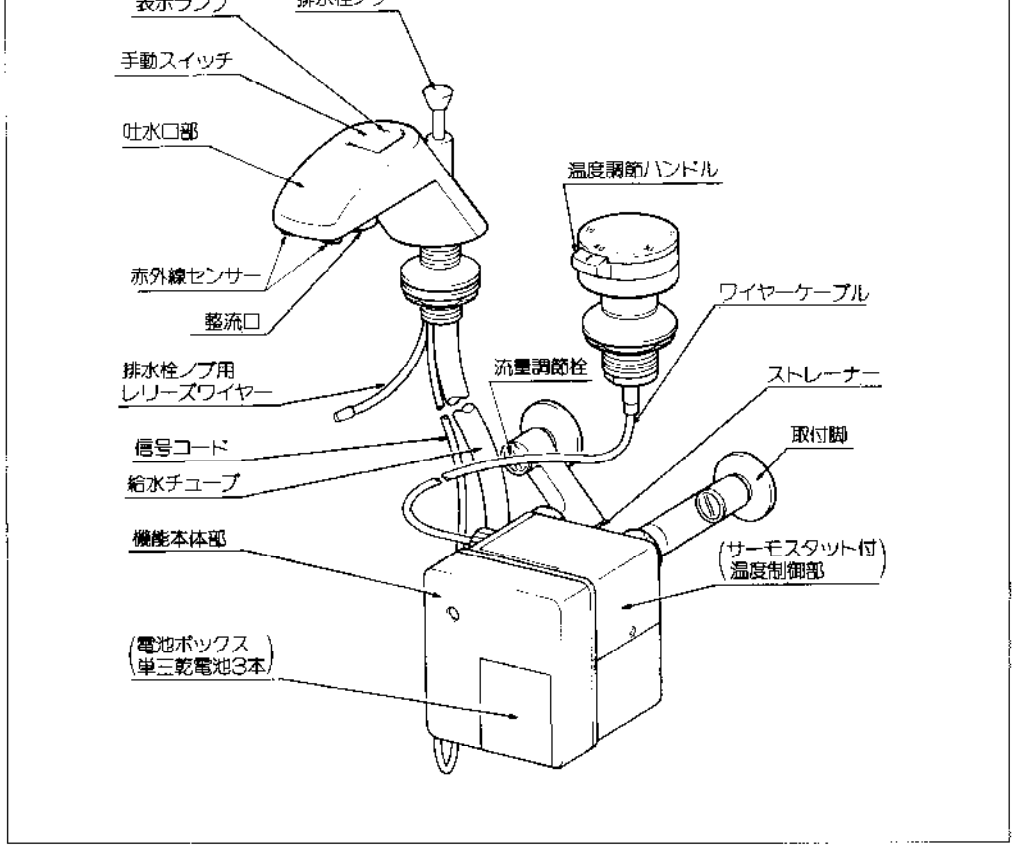
AM-25



●仕　様

電　　源	ニッケルカドミウム電池(バックアップ用電源：アルカリ単三乾電池)
バックアップ用乾電池寿命	1日2分以上の使用で交換不要。(流量6L/分) ※詳細は「バックアップ用乾電池について」の項をご覧ください。
給水圧力	0.06~0.59MPa{0.6~6kgf/cm²}
給湯圧力	0.06~0.2MPa{0.6~2kgf/cm²}
給湯温度	希望吐出温度 +10℃以上
使用水	上水
使用環境温度	0~40℃
使用環境湿度	90%RH以下
配管接続ネジ	PJ1/2
感知方式	赤外線センサー
感知距離	約8cm
感知幅	6cm以下
感知角度	前方20°

●各部の名称



●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

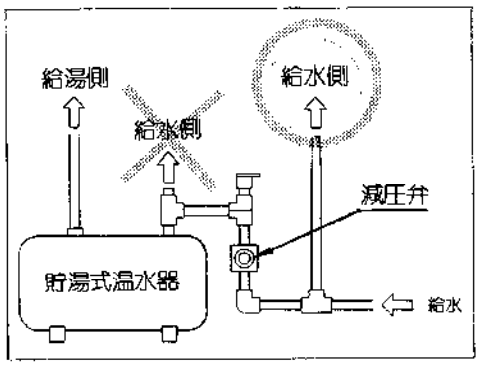
●取付可能洗面器一覧表

自動水栓	取付可能洗面器	寸法 A	寸法 B	寸法 C
AM-15	L-2362CD	100	470	250
	L-2394CD	100	470	250
	L-2594CD, CR	100	470	250
AM-25	L-244EC	100	470	330
	L-266CD	150	470	250
	L-284EC	100	470	325
	L-2145UCD, CR	100	470	250
	L-2146UCD	100	470	250
	L-2162CD, CR	100	470	320
	L-2292	100	470	250
	L-2291	75	—	※ 380
	L-2296	135	—	※ 380
	L-2298	135	—	※ 400
	L-2584EC	100	470	340

※はカウンター下面からの寸法

●使用条件

● 給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
{給水圧力 0.06~0.59MPa{0.6~6kgf/cm²}
{給湯圧力 0.06~0.2MPa{0.6~2kgf/cm²}
給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。給水圧力が0.59MPa{6kgf/cm²}を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.2MPa{2kgf/cm²}程度)に減圧してください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕
給湯器直前における流動時の静水圧をA+0.08MPa{0.8kgf/cm²}以上とし、かつ水栓直前における圧力を上記給湯圧力範囲におさめてください。(Aはガス給湯器の最低作動水圧)
●測定条件
※流量調節栓は湯・水ともに全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期季節の条件(給水温度5℃,吐出温度40℃)によるものです。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
オートマージュ給水側の接続は、右図の○印のように、貯湯式温水器付属の減圧弁の1次側から取り出してください。
※右図の×印のように、貯湯式温水器付属の減圧弁の2次側から給水を取り出しますと、流量不足により発電機の性能が十分発揮できません。



● ガス給湯器の給湯温度は使用する最高温度より10℃以上高くしてください。
また、貯湯式温水器では最高温度に設定してください。
● 給湯に蒸気は使用できません。
● 給水・給湯を逆に配管しないでください。

株式会社INAX
本社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎046-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎ 06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

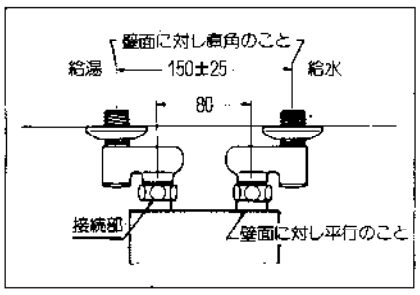
●施工前のご注意

- 水栓を取り付ける前に必ず**配管中の異物**を完全に洗い流してください。
- 電気製品ですので**機能本体部に水をかけない**ようご注意ください。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。逆配管では温度の調節ができません。
- 湯側・水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるよう取り付けてください。
- 機能本体部は必ず正しい方向に取り付けてください。横にしたり、逆さに取り付けますと故障の原因になります。
- 給水は必ず**上水**としてください。中水及び異物を多く含む水は使用できません。
- 水栓の機能を十分発揮させるため、**水圧が0.2MPa{2kgf/㎠}を超える場合**は、水側の流量調節栓を絞って、温度調節ハンドルを水側に合わせて吐水させたときの**吐出量を6～10L/分程度**にしてください。
- 洗面器への取付けは、取付可能洗面器であることを確認してください。
  （取付可能洗面器一覧表の項参照）
  ※取付可能洗面器一覧表に記載されていない洗面器への取付けは、誤動作することがあり使用できません。
- 赤外線センサー表面を傷つけないようご注意ください。
- 水栓取付けに必要な六角レンチ(呼び12)、専用工具「KG−4」をあらかじめご用意ください。
- インバータ照明により誤差動する場合があります。
- 太陽の直射日光があたらないところに設置してください。

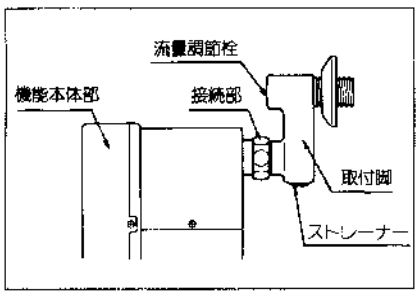
●施工方法

1．機能本体部の取付け

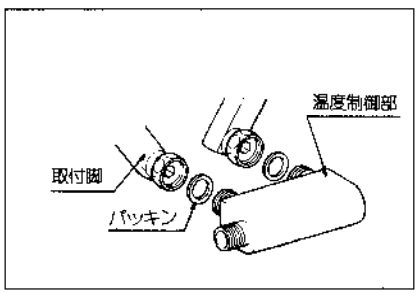
(1)配管取出位置を確認します。
（施工完了図の項参照）



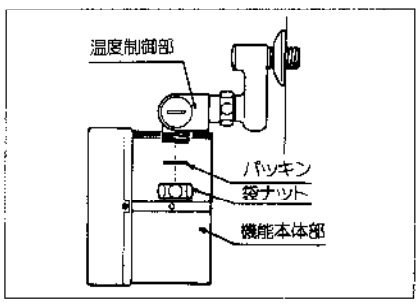
(2)取付脚を取り付けます。
※取付脚は**接続部(ナット部)が下になる**ように取り付けてください。上になると流量調節栓の吐出量調節ができません。



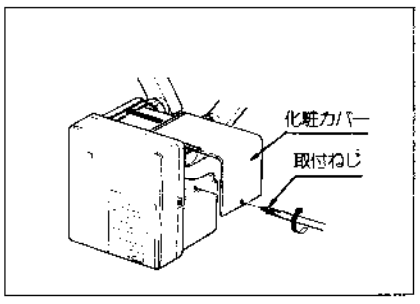
(3)取付脚に温度制御部を取り付けます。
※**パッキンを必ず取り付けてください。**



(4)温度制御部に機能本体部を取り付けます。
※**パッキンを必ず取り付けてください。**

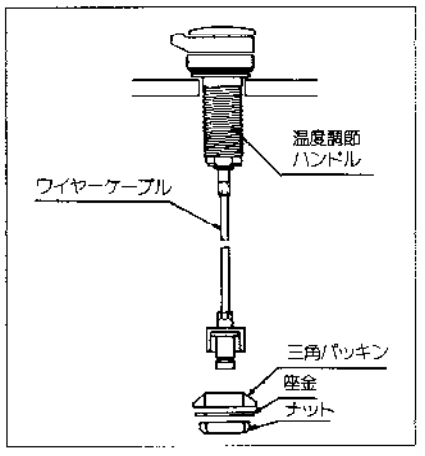


(5)化粧カバーをはめ込み、取付ねじで締め付けます。

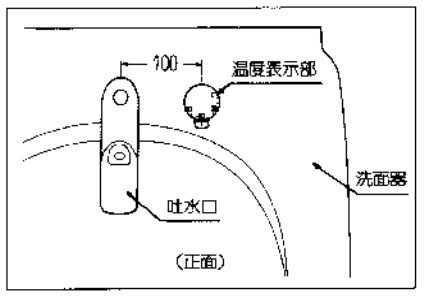


2．温度調節ハンドルの取付け

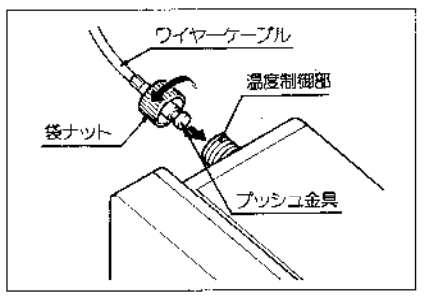
(1)温度調節ハンドルを洗面器に固定します。
（専用工具：KG-4）



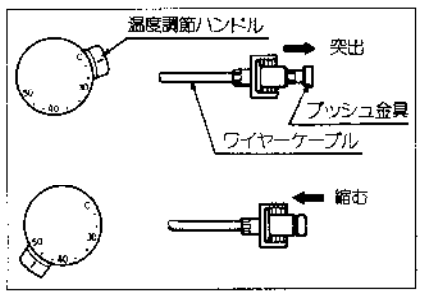
※温度表示部の「40」が正面を向くように取り付けてください。



(2)温度調節ハンドルを**高温側に回し**、ワイヤーケーブルと温度制御部を袋ナットで接続します。

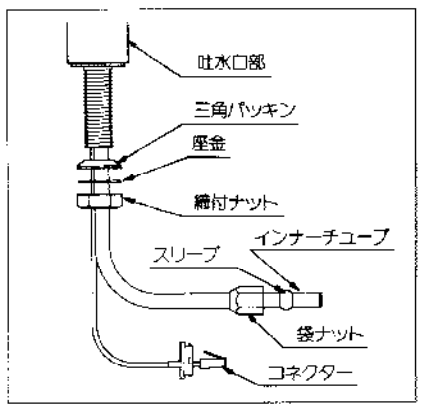


※プッシュ金具は温度調節ハンドルを低温側に回すと突出し、高温に回すと縮みます。

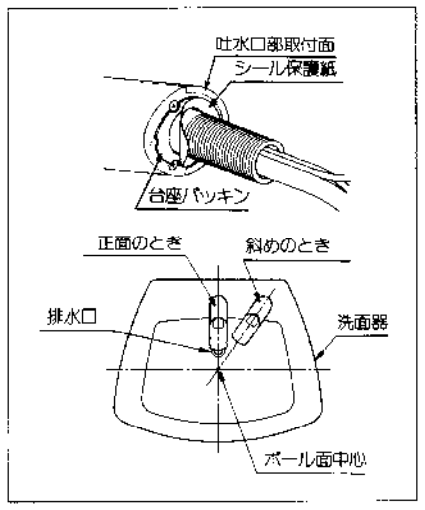


3．吐水口部の取付け

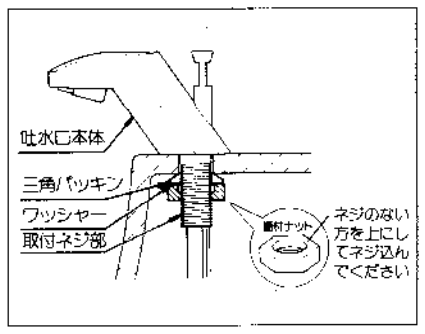
(1)吐水口部に付いている部品(インナーチューブ、スリーブ、袋ナット、締付ナット、座金、三角パッキン)をいったん取り外します。
※取り外した後、部品の紛失にご注意ください。



(2)台座パッキンの**シール保護紙をはがし**吐水口部先端がボール面中心に向くように手洗・洗面器に仮固定します。
※吐水口部を固定するときは、カラン穴周囲の汚れを十分にふきとってください。
※コネクター先端に水や汚れがつかないようにご注意ください。
※取付方向が適切でないとボール面を感知したり、誤作動の原因となりますのでご注意ください。



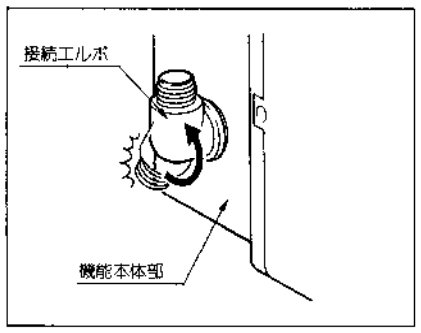
(3)専用工具「KG−4」を用いて手洗・洗面器に吐水口部をしっかりと固定します。



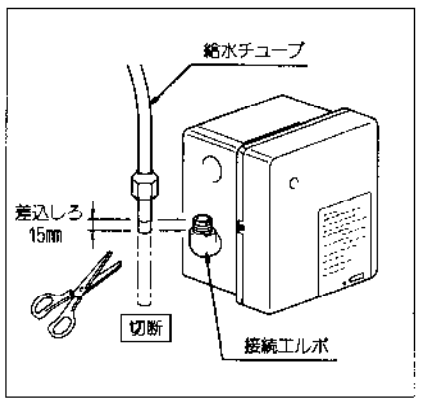
4. 吐水口部と機能本体部の接続

[給水チューブの接続]

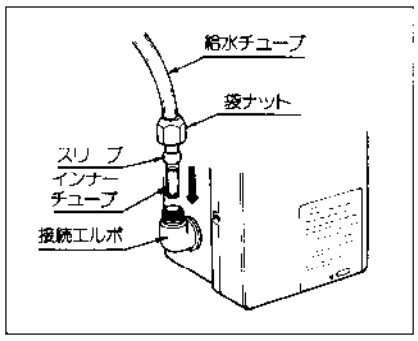
(1)接続エルボを機能本体部に取り付けます。
この時**締め込まないよう注意してください。**
接続エルボを右に回してゆき、端部が機能本体部に当たった後は、出口が上に向くようにゆるめて(左回転)ください。
最大1回転までゆるめても問題ありません。
※接続エルボを締め込みますと破損、漏水の恐れがありますので注意してください。



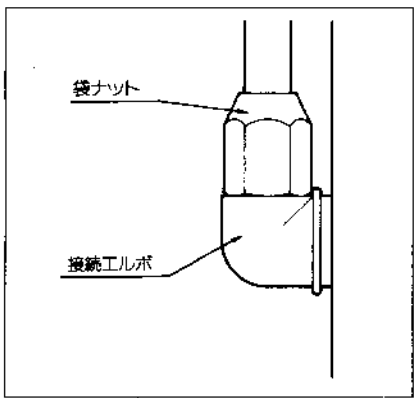
(2)給水チューブが折れ曲がらないよう必要な長さを確認し切断します。この時接続エルボの差込しろを15㎜程確保してください。
※給水チューブはカッターナイフあるいはハサミでまっすぐ切断してください。



(3)給水チューブを必要な長さに切断したら、袋ナット、スリーブ、インナーチューブの順で給水チューブに装着し、接続エルボに取り付けます。

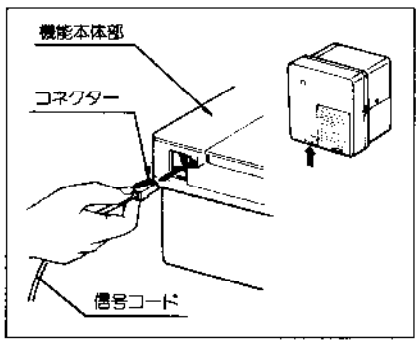


(4)袋ナットと接続エルボとのすき間がなくなるまでスパナ等で締め付けます。
※袋ナット端部が接続エルボに当たった後は締め付け過ぎないようご注意ください。

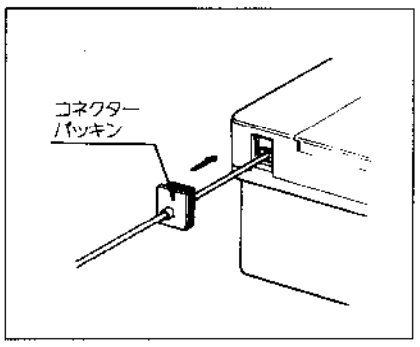


[信号コードの接続]

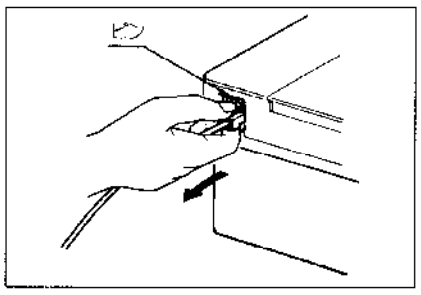
(1)信号コード先端のコネクターを機能本体部側コネクターにカチッと手ごたえがあるまでしっかりと差し込んでください。



(2)コネクターパッキンをケースにはめ込みます。

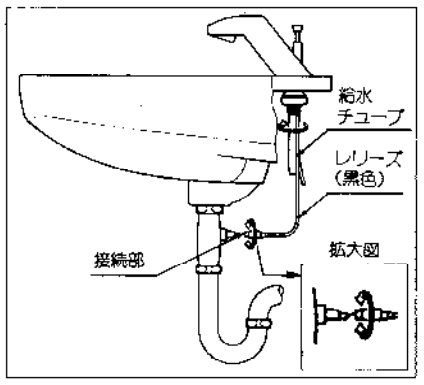


※外すときはコネクターのピンを指で押さえながら下に引いてください。
※機能本体部側のコネクターにドライバー等の工具が触れないようご注意ください。故障の原因となります。



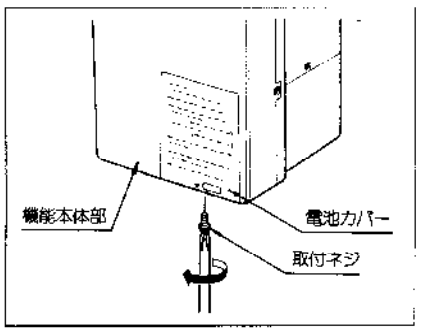
[排水栓レリーズの取付け]

排水トラップの取付完了後、排水栓側と吐水口側のレリーズをつなぎます。

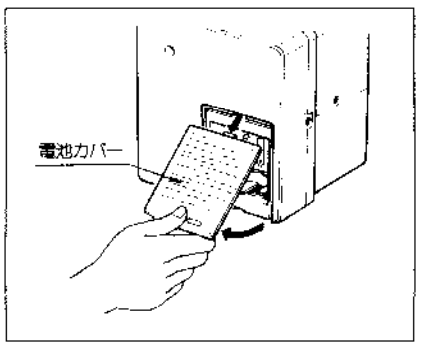


5. 乾電池のセットと電源スイッチ

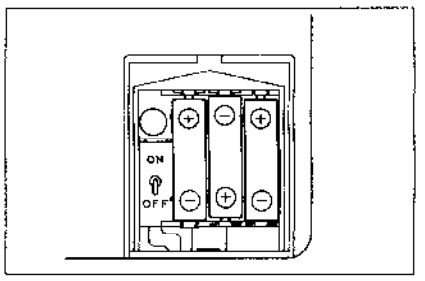
(1)小形のプラスドライバーで電池カバーの取付ねじを外します。



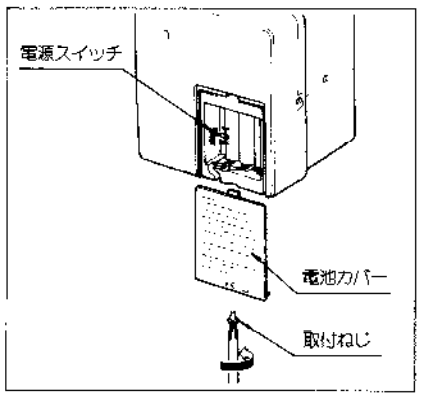
(2)電池カバーを抜き取ります。



(3)同梱の単三アルカリ乾電池3本を⊕⊖の方向に注意してセットします。
※この時、電池ボックス内に水が入らないようご注意ください。



(4)**電源スイッチを「ON」(上げる)**にして電池カバーを再び取り付けます。
※電池カバーは確実にはめ込んでください。

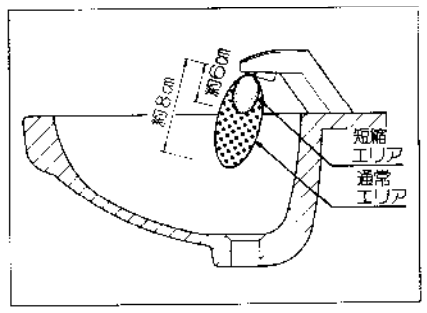


●施工後の調節

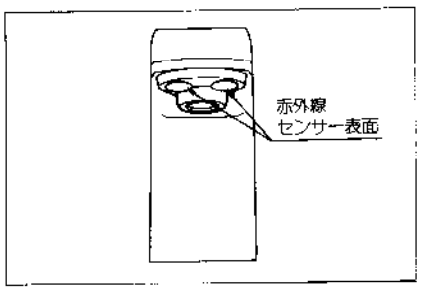
1. 作動確認

作動確認を行う前に、機能本体の**バックアップ用乾電池**が正しくセットされ、乾電池ボックス内の電源スイッチが「ON」の位置にあることを確認ください。
電源スイッチを「ON」にした後約5秒間は、ウォーミングアップのため作動しません。
5秒経過後、つぎの手順で作動確認を行ってください。

(1)センサーの感知エリアは右図のようになっています。感知エリアに手を差し出すと水が出て、手を引くと約1～2秒後に止まります。
連続30秒間感知が続くと自動的に止水し感知エリアは通常エリアから短縮エリアになります。



(2)感知エリアに感知物がなく水が出てしまう場合は次のことを確認してください。
①吐水口部の取付位置が適切か。
(「吐水口部の取付け」の項参照)
②右図の赤外線センサー表面が汚れていないか。汚れていた場合は、柔らかい布でふきとってください。



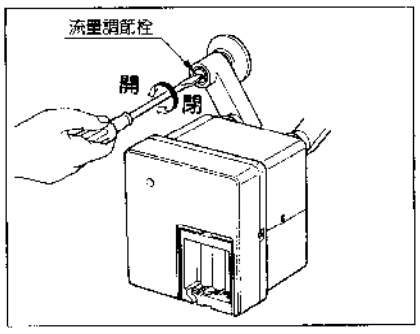
2. 吐出量の調節

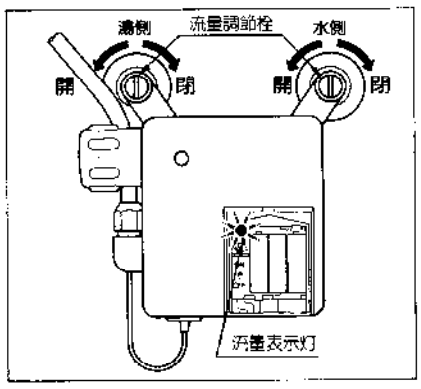
当商品は発電機を搭載しています。発電機の機能を十分に発揮させるため、必ず流量調節栓で吐出量を調節してください。

マイナスドライバーで流量調節栓を回して、吐出量を調節してください。

適正吐出量　6~10L/分

この時、電池ボックス内の**流量表示灯が点灯するように**、流量調節栓を回してください。





流量表示灯の(L/分)表示状態

表示状態	流量(L/分)	吐出量
消　灯	~4	不充分
遅い点滅	4~6	不充分
点　灯	6~10	適　正
速い点滅	10~12	多すぎる
消　灯	12~	多すぎる

※流量表示灯は電源スイッチを「ON」にしてから5分間だけ作動します。作動しない場合は、電源スイッチを一度「OFF」にしてから「ON」にすると再度5分間作動します。

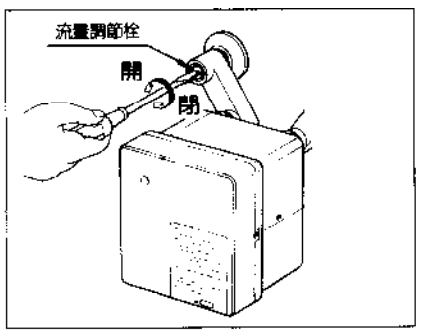
※水栓の機能を十分発揮させるため、**水圧が0.2MPa {2kgf/㎠} を超える場合**は水側の流量調節栓を絞って、温度調節ハンドルを水側に合わせて吐水させたときの**吐出量を6~10L/分程度**にしてください。

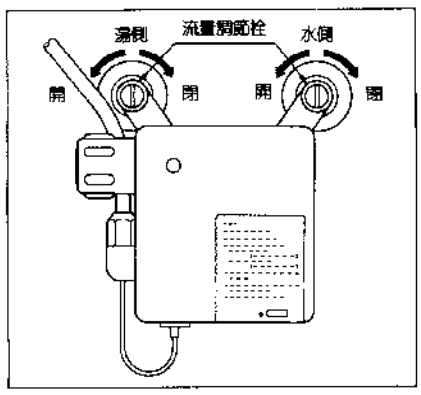
3. ストレーナーの掃除

ストレーナーが詰まると吐出量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。水栓の作動確認後必ずストレーナーを掃除してください。

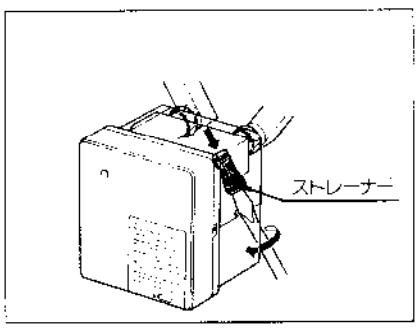
(1)湯側、水側の流量調節栓を時計回りにいっぱいにねじ込みます。

※一度吐出動作(センサー感知)を行い、止水確認、圧抜きを行ってください。





(2)大形のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。ストレーナーは湯側、水側両方に付いています。



(3)取付けは逆の手順で行い、流量調節栓は必ず適正吐出量6~10L/分に調節します。

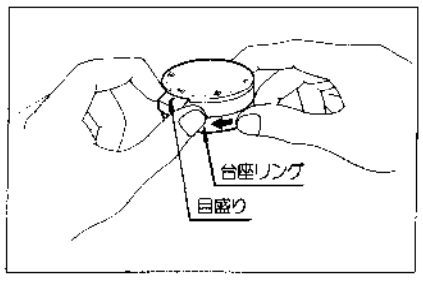
4. 温度調節

工場で調節出荷しておりますが、圧力や給湯温度が異なると、ダイヤルどおりの温度が出ない場合があります。このような場合は次の要領で再調節してください。なお、調節前に次のことを確認してください。

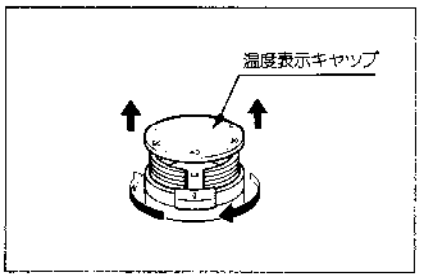
・流量調節栓は開いているか。
・ストレーナーにゴミ詰まりはないか。
・給湯温度は十分か。
・ワイヤーケーブルが接続されているか。

調節方法

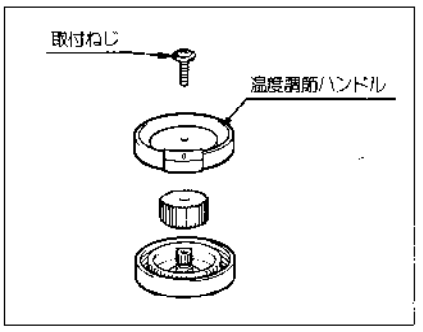
(1)**目盛りを「40」に合わせ、台座リングを時計回りに回します。**



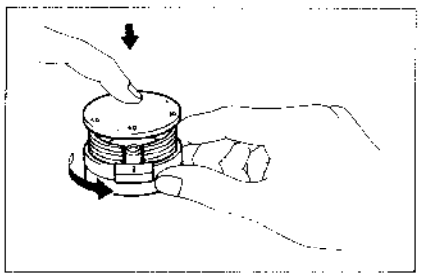
(2)台座リングを回していくと温度表示キャップが自動的に上がってきますので抜き取ります。吐出させ、目盛りの位置に関係なく40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。



(3)吐出温度が40℃になったところで吐出を止め、温度調節ハンドルが回転しないように注意し、取付ねじを外して温度調節ハンドルを抜き取ります。
40℃吐出の時、温度調節ハンドルのつまみ部分が正面に向くように再び取付ねじで締め付けます。



(4)温度表示キャップの「40」と目盛りを合わせ、**片方の指で押さえながら、もう片方の手で台座リングを反時計回りに回します。**



●バックアップ用乾電池について

水栓の使用頻度が少ないと、発電量と消費電力のバランスがとれず、バックアップ用乾電池の寿命が短くなります。乾電池の容量が不足すると、自動、手動にかかわらず吐水時に手動スイッチの表示ランプが点滅します。また、ランプが点滅していない場合にも、作動しない時はまず乾電池を交換していただくよう、お客様にご説明ください。
交換方法については取扱説明書に記載しています。

●引渡前の確認

引渡前の確認および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

故障の状況	確認内容	処置方法	参照項目
吐出しない	流量調節栓は開いていますか?	閉まっていれば開く。	「吐出量の調節」
	乾電池はセットされていますか?	セットされていなければセットする。	「乾電池のセットと電源スイッチ」
	信号コードのコネクターは確実に差し込まれていますか?	差し込まれていなければ差し込む。	「信号コードの接続」
	ストレーナーにゴミ等が付着していませんか?	ゴミ等を除去する。	「ストレーナーの掃除」
	赤外線センサー表面が汚れていませんか?	汚れていれば、きれいにする。	「作動確認」
吐出量が少ない	流量調節栓を絞りすぎていませんか?	適正吐出量まで開く。	「吐水量の調節」
	ストレーナーにゴミ等が付着していませんか?	ゴミ等を除去する。	「ストレーナーの掃除」
吐出量が多い	流量調節栓を開きすぎていませんか?	適正吐出量まで絞る。	「吐出量の調節」
高温しか出ない	水側の流量調節栓は十分開いていますか?	適正吐出量まで開く。	「吐出量の調節」
低温しか出ない	給湯温度は希望吐出温度より10℃以上高くなっていますか?	10℃以上でなければ、給湯器の調節をする。	「使用条件」
	湯側の流量調節栓は十分開いていますか?	適正吐出量まで開く。	「吐出量の調節」
温度調節がきかない	流量調節栓は、湯側・水側ともに十分開いていますか?	適正吐出量に調節する。	「吐出量の調節」
	ストレーナーにゴミ等が付着していませんか?	ゴミ等を除去する。	「ストレーナーの掃除」
止水しない	赤外線センサーの前に障害物はありませんか?	あれば取り除く。	――
	赤外線センサー表面が汚れていませんか?	汚れていれば、きれいにする。	「作動確認」
	万一止水しない場合は流量調節栓を閉じて、当社支社または、販売会社までお問い合わせください。		

●長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、電源スイッチを「OFF」にしてください。
※バックアップ用乾電池が消耗します。